

各位

上場会社名 株式会社 デイトナ  
 代表者 代表取締役社長 鈴木 紳一郎  
 (コード番号 7228)  
 問合せ先責任者 取締役管理部長 中嶋 哲司  
 (TEL 0538-84-2200)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成23年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,067	76	64	38	11.03
今回修正予想(B)	3,066	126	123	67	19.28
増減額(B-A)	△1	49	58	28	
増減率(%)	△0.0	65.1	91.3	74.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	2,927	48	36	△36	△10.36

平成23年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,238	228	204	123	35.23
今回修正予想(B)	6,268	271	259	152	43.52
増減額(B-A)	30	42	54	29	
増減率(%)	0.5	18.8	26.9	23.5	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	6,063	196	178	41	11.71

平成23年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,610	70	67	40	11.63
今回修正予想(B)	1,624	131	132	78	22.33
増減額(B-A)	14	61	64	37	
増減率(%)	0.9	87.8	95.3	92.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年12月期第2四半期)	1,561	75	73	40	11.60

平成23年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,296	201	197	118	33.76
今回修正予想(B)	3,250	240	242	144	41.20
増減額(B-A)	△46	39	45	26	
増減率(%)	△1.4	19.5	23.2	22.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年12月期)	3,146	184	181	87	24.85

(注)本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき将来予測を判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

修正の理由

(第2四半期累計期間)

連結業績につきましては、売上高はほぼ当初予想を達成し30億66百万円となる見込みです。利益面につきましては、国内拠点卸売事業において売上増による利益の増加に加え円高による仕入コストの減少、経費削減等が大きく利益率の向上に貢献した結果、営業利益は1億26百万円、経常利益は1億23百万円、四半期純利益は67百万円となる見込みです。個別業績につきましては、売上高はおおむね当初予想の範囲で16億24百万円、利益面では上述の理由等により営業利益1億31百万円、経常利益1億32百万円、四半期純利益78百万円を見込んでおります。

(通期)

第2四半期累計期間の終わりには、景気の底打ち感、個人消費の回復感も見られ始めました。国内拠点卸売事業において下期の新商品投入の減少等もあり、若干の下振れ要因を考慮しておりますが、国内拠点小売事業における個人消費の伸長傾向を盛り込んだ結果、売上高は62億68百万円、営業利益は2億71百万円、経常利益は2億59百万円、当期純利益は1億52百万円を見込んでおります。

個別業績につきましては、下期の若干の下振れ要因を考慮し、売上高は32億50百万円、営業利益は2億40百万円、経常利益は2億42百万円、当期純利益は1億44百万円を見込んでおります。

なお、現段階において配当予想に修正はございません。

以 上